

全国農業



NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

新聞

2022年(令和4年)

1月14日

金曜日
月4回金曜日発行

首都圏

これで勝負!

大消費地にいどむ

首都圏農業

118

市川三郷町 大塚にんじん

【山梨】甲府盆地南端に位置する市川三郷町で、伝統野菜「大塚にんじん」の収穫が行われた。

大塚にんじんは国分鮮紅大長という品種で、「のっ

ふい」と呼ばれる作土が深く、肥沃な大塚地区で江戸後期から栽培されている。

伝統野菜で遊休農地対策

た、大塚にんじんは栄養価が高く、味も濃厚であるためニンジン特有の甘みも堪能できる。

50年ほど前には100戸以上の農家が栽培していたが1900年代末には農家の高齢化もあり、3戸ほどに減少してしまっ

た。そこで、伝統野菜を絶やさないように2000年に生産者、農業委員、当時の役員関係者で構成する「大塚にんじんクラブ」を

足。

なかでも、農業委員会の渡邊千雪会長をはじめ、大塚地区の農業委員、農地利用最適化推進委員の5人は遊休農地などを借り受け栽培を行い、「にんじん飯」などの調理法も含め文化の継承を行っている。

こうした努力が実を結び、現在では栽培農家が50戸ほどに増えてきている。渡邊会長は「遊休農地解消と伝統を継承するため、大

塚にんじんの魅力を伝えていきたい」と語る。



大塚にんじんを持つ市川三郷町農業委員・推進委員（右から2人目が渡邊会長）